茨木市の指定文化財

茨木市指定文化財（有形文化財　考古資料）

ひらえんはんにくぼりしじゅうきょう
平縁半肉刻四獣鏡

◇所　在　地　茨木市東奈良三丁目12番18号（茨木市立文化財資料館）
◇指 定 番 号　考古資料第1号
◇指定年月日　平成9年9月1日

茨木市指定史跡「安威０号墳」の２号粘土槨内から石釧片、玉類（勾玉・管玉・丸玉・棗玉・小玉）などとともに出土しました。

平縁の内側に波文帯をはさんで二条の鋸歯文帯があり、一段下がった内区との間に櫛歯紋と銘帯を配して外区を形成しています。

「 □氏作竟　　自有道明　　而日月　　世少有□治分守悉皆
　　在東王□王公　　青龍在左　　白虎居右　　長保二親　　宣□子　」
　　＊「□」は不明。「少」・「皆」・「親」は逆字。

内区は円座をもつ四乳で等分し、青龍と白虎で四獣を表しています。胴部の湯回りがやや悪いものの、他の細線はかなり明瞭です。鈕には円座があり、その外側、獣文帯との間には、やや変形した有節重弧文帯を巡らせています。中国漢代末から三国時代にかけて、中国で製作されたものと見られます。

<u>寸法・重量</u>

面径：１４１㎜　　背径：１３６㎜　　面反：１．５㎜
縁厚：７．１㎜　　体厚：２．１㎜　　重量：５９１ｇ